

<第2期笠間市教育振興基本計画の策定方針について>

1. 趣旨

教育振興基本計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、教育振興のための施策に関する基本的な計画について、地域の実情に応じ定めるよう努めることが定められております。

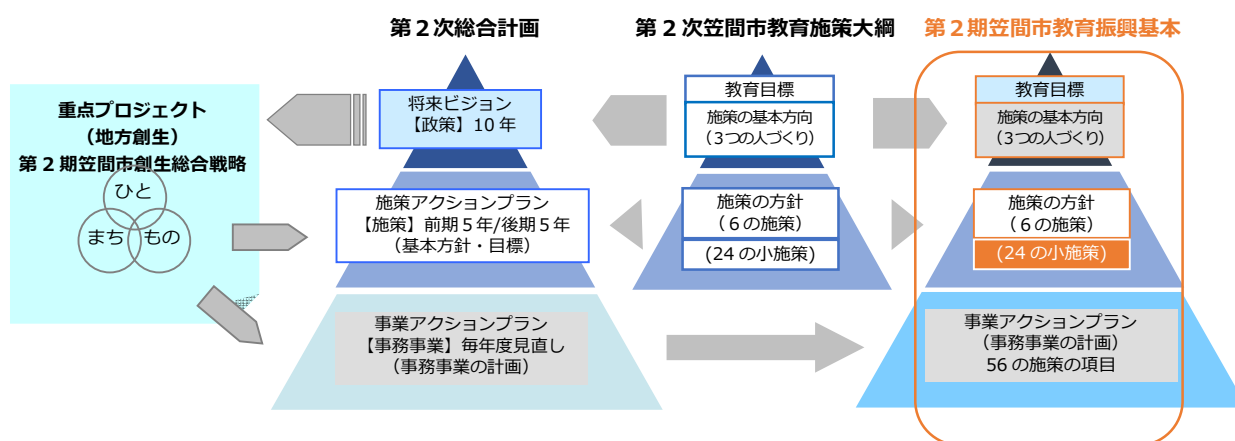
本市では、平成29年3月に「笠間市教育振興基本計画」を策定し、計画的に教育行政の向上に取り組んできました。

現在の計画期間は令和3年度末までであり、この間、教育を取り巻く環境や社会情勢も大きく変化していること、また、国の「第3期教育振興基本計画」や、今年3月に改定した「第2次笠間市教育施策大綱」における各教育施策との整合を図りつつ、これまでの成果と課題を踏まえ、新たに改定を行うものであります。

2. 計画の構造と位置づけ

現行の「笠間市教育振興基本計画」の構造は、第1階層を「教育目標」、「施策の基本方向（3つの人づくり）」、第2階層を「施策の方針（6の施策）」、「23の小施策」と位置付け、これまでの教育施策大綱と整合性を図ってまいりました。今後は「第2次笠間市教育施策大綱」に基づき、第2階層を「施策の方針（6の施策）」、「24の小施策」に合わせて改定を図ってまいります。

さらに、本市の最上位計画である「第2次笠間市総合計画（計画期間：平成29年度から令和8年度（2026年度）」の「施策アクションプラン」、また、「第2期笠間市創生総合戦略（令和2年度から令和6年度）」における重点プロジェクトのひとつに位置付け、施策を実現するための具体的事務事業を第3階層として、教育に関する分野を担うものであります。



3. 改定の方針

現計画の改定に当たっては、社会情勢やこれまでの施策の取組状況等を踏まえ、次に掲げる視点を改正の方針とします。

1. 昨今の教育を取り巻く社会動向や、前教育施策大綱をベースとした、笠間市教育振興基本計画に掲げる取組の成果と課題について検証するとともに、第2次教育施策大綱と整合性を図ったうえで、必要な改定を行う。
2. 国の第3期教育振興基本計画を参酌しつつ、新時代の到来を見据えた次世代の人材育成に向けた改定を行う。
3. 笠間ならではの特色ある教育の推進に向けた改定を行う。

4. 改定後の計画期間

基本計画は、市の最上位計画である「第2次笠間市総合計画」,「第2期笠間市創生総合戦略」及び「第2次笠間市教育施策大綱」と整合性を図ることが必要なことから、今回改定する基本計画が対象とする期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間といたします。

5. 教育を取り巻く現状と課題について

(1) 社会情勢の変化

●人口減少, 少子高齢化の加速化

子どもを取り巻く環境が多様化, 複雑化していく中で教育の果たす役割が重要

●グローバル化の進展

国際社会を主体的に生きる力を育むための人材育成への対応

●society 5.0 時代の到来, AI をはじめとする科学技術の急速な革新

加速度的に変化する社会に応じた, IoT 時代の人材育成や環境整備

●共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の充実

障害の有無に関わらず, 共に学びあう「多様な学びの場」の提供, 平等かつ包括的な教育の推進に向けた意識改革

●ライフスタイルの変化

生涯にわたって豊かな人生がおくれる生涯学習・スポーツ活動・芸術文化を通じ地域全体が発展していく持続可能な社会の実現

●地域や社会におけるコミュニティの希薄化

学校と地域, 保護者が力を合わせ子どもたちの学びを支援する, 地域コミュニティの創出による社会の形成を進めていくことが課題

●地球環境の変化

自然災害の多発, 持続可能な開発目標 SDGs の推進

●安全・安心に対する意識の高まり

防災教育, 命を守る教育の推進, 子どもの安全・安心の確保

●ポストコロナ社会に向けた新しい地方創生

「新しい生活様式」をはじめとする社会変革への実践

(2) 子どもたちを取り巻く課題

●社会経済的子どもの貧困化

子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう, 子どもたちの成長を支える生活環境の充実に向けた取組み

●複雑化する家庭環境への対応

学校・家庭・地域が一体となって地域全体で家庭教育を支え, 子どもたちが安心して活動できる居場所づくり

●不登校やいじめ, 暴力行為等問題行為

いじめの未然防止や早期発見, 早期解消に向けた取組み, 不登校の子どもたちへの支援体制の充実

●歴史や伝統, 文化を生かした教育

郷土の伝統や文化を受け止め, それを継承・発展させるための教育の推進

●教育施設の整備

子どもたちの学習や生活の場所である学校環境の安全・安心を確保するため, 計画的な整備と機

能面の充実

(3) 想定される新たな課題

● **新学習指導要領の実施**

社会の変化を見据えて、子どもたちが「生きる力」を育むために必要な資質・能力の育成

● **SDG s の推進に向けた教育**

「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことの実現

● **教職員の働き方改革**

子どもと向き合う時間を確保し、働きがいがあり、本来の能力が発揮できる職場となることにより、質の高い教育の実現

● **ICT を活用した授業改善**

教員の指導力を充実させるためのコンテンツの整備や研修の充実

● **防災教育**

学校・地域・家庭の災害時における連携体制の強化

<現計画における成果と課題>

笠間市教育振興基本計画は、教育施策を総合的、体系的に位置付けており、前笠間市教育施策大綱で掲げた「教育施策の基本方向」と「施策方針」に対応し、本市の未来を支える子どもたちや市民を育む具体的な取組みを進めてきました。

施策方針の検証（成果び今後の課題）について

施策の方針 1 幼児教育の推進

(1) 就学前の教育の充実

- 本市の公立幼稚園全てが認定こども園へ移行し、さらに就学前教育アドバイザーを配置したことで、各年齢の個々に応じた発達と育ちにおける保育や教育環境に対する幅広い運営と子どもたちへの適切な措置により、子育て家庭に対する多様な幼児教育の充実が図られている。
- 幼保小の連携については、子ども同士の交流を通じ、体系的、かつ組織的な連携教育に取り組むことで、小1プロブレムへの解消が緩和され始めている。

<成果>

- 市内全ての公立幼稚園が「認定こども園」へ移行 ● 就学前教育アドバイザーの充実
- 小学校教職員と認定こども園、保育書（園）職員との情報交換や研修会の実施

<目標指標と達成に向けた取組状況>

数値指標		単位	H29	H30	R1	R2	R3
幼児教育接続等推進のための研修会参加人数	目標値	人	60	80	100	120	140
	実績値		70	91	78	27	
	達成度	%	116.7	113.8	78.0	22.5	
アプローチプログラム、スタートカリキュラムの作成	目標値	%	100	100	100	100	100
	実績値	%	100	100	100	100	
	達成度	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
絵本読み聞かせ回数	目標値	回	2,400	2,400	7,200	7,200	7,200
	実績値	回	2,360	2,365	7,200	6,400	
	達成度	%	98.3	98.5	100.0	88.9	
「就学支援シート」の作成率 「個別の教育支援計画」(令和2年度より)	目標値	%	100	100	100	100	100
	実績値	%	100	100	100	100	
	達成度	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
高齢者との交流会回数	目標値	回	20	20	10	10	10
	実績値	回	16	32	9	0	
	達成度	%	80.0	160.0	90.0		
子育て支援センターでの親子交流事業回数	目標値	回	70	72	72	72	72
	実績値	回	73	72	69	21	
	達成度	%	104.3	100.0	95.8	29.2	
避難訓練回数	目標値	回	48	48	24	24	24
	実績値	回	51	48	24	24	
	達成度	%	106.3	100.0	100.0	100.0	

<今後の課題>

- ◆ アプローチプログラム、スタートカリキュラムのさらなる充実
- ◆ 「個別の教育支援計画」に基づいた、個々に対する支援の充実
- ◆ 家庭の教育力の向上
- ◆ 有資格者人材不足の解消
- ◆ 特別支援体制のさらなる連携

施策の方針 2 学校教育の充実

- (1) 豊かな心の育成 (2) 確かな学力の育成 (3) 健やかな体の育成 (4) 特別支援教育の充実
(5) 時代の要請に応える教育の推進 (6) キャリア教育の推進 (6) キャリア教育の推進

- 英語教育の推進に向け、英検費用の一部助成による受験機会と対象者の拡充を図ったことで、英検 3 級以上の取得率が上昇に繋がり、グローバル化に対応した新しい時代に生きる子どもたちの教育の推進に繋がっている。
- 子どもの成長や発達に関し、「子ども育成支援センター」を開設したことにより、ライフステージに応じた総合的支援体制の強化を図っている。
- 適応指導教室を統合したことにより、不登校児童生徒に対して、より効果的な支援に取組み、学校への早期復帰を目指した活動の充実に繋がっている。
- 小中連携・一貫教育の推進に向け「みなみ学園義務教育学校」を開校したことで、一貫性を持たせ体系的な教育課程の編成や先駆的な教育活動により、子どもたちの未来を見据え、個に応じたきめ細かな教育モデルが構築された。
- 文部科学省による GIGA スクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末の整備が完了し、各小中学校に無線 LAN の整備、学習系システムを導入し、学習の個別最適化に必要な環境整備を行った。

<成果>

- 英検費用の助成対象者の拡大及び英検 3 級取得率の向上
- 「子ども育成支援センター」設置による支援体制の強化
- 「みなみ学園義務教育学校」の開校
- スクールソーシャルワーカー、特別支援教育専門員、算数・数学学力向上支援員の充実
- 栄養教諭による全校全学年を対象にした「食に関する指導」の実施
- 地元で生産された食材や国際交流の相手国の食材を取り入れた学校給食の提供
- 普通・特別教室へのエアコン設置
- 学校トイレの洋式化
- ICT を活用した授業の質の向上

<目標指標と達成に向けた取組状況>

数値指標		単位	H29	H30	R1	R2	R3
不登校(30日以上)児童の割合 (小学生)	目標値	%	0.35	0.3	0.2	0.1	0
	実績値	%	0.84	1.16	1.16	0.93	
	達成度	%	-	-	-	-	
不登校(30日以上)生徒の割合 (中学生)	目標値	%	3.5	3	2	1	0
	実績値	%	3.79	3.21	5.41	4.91	
	達成度	%	-	-	-	-	
全国学力・学習状況調査 総合平均正 答率 (小学校における全国との比較)	目標値	ポイント	1.6	1.7	1.8	1.9	+2
	実績値	ポイント	-0.2	1.1	1.3	0	
	達成度	%	-	64.7	72.2		
全国学力・学習状況調査 総合平均正 答率 (中学校における全国との比較)	目標値	ポイント	-0.4	0	0.4	0.7	+1
	実績値	ポイント	-0.6	-0.3	1.1	0	
	達成度	%	-	-	275.0		
全国体力・運動能力調査 (小学校における全国平均との比較A+ Bの割合)	目標値	ポイント	56	57	58	59	60
	実績値	ポイント	62	57	53.1	0	
	達成度	%	110.7	100.0	91.6		
全国体力・運動能力調査 (中学校における全国平均との比較A+ Bの割合)	目標値	ポイント	56	57	58	59	60
	実績値	ポイント	57	57	55	0	
	達成度	%	101.8	100.0	94.8		
国際交流事業への参加者数	目標値	人	1,800	1,850	1,900	1,950	2,000
	実績値	人	317	888	769	574	
	達成度	%	17.6	48.0	40.5	29.4	
タブレットPC(各校40台)の整備率	目標値	%	10	10	65	100	100
	実績値	%	11.76	11.76	11.76	100	100
	達成度	%	117.6	117.6	18.1	100.0	100.0
校内無線LANの整備率	目標値	%	10	10	65	100	100
	実績値	%	11.76	11.76	11.76	100	100
	達成度	%	117.6	117.6	18.1	100.0	100.0
コミュニティ・スクール実施校数	目標値	校	0	0	4	4	16
	実績値	校	0	0	4	7	
	達成度	%	0.0	0.0	100.0	175.0	
小中一貫教育の推進状況	目標値	%	0	6.25	18.75	18.75	100
	実績値	%	6	6	6	6	
	達成度	%	0.0	96.0	32.0	32.0	
学校の老朽改修整備率	目標値	%	80	85	90	95	100
	実績値	%	76.2	72.4	72.4	81.2	
	達成度	%	95.3	85.2	80.4	85.5	



<今後の課題>

- ◆子育て相談体制のさらなる充実 ◆いじめ(インターネットによるSNSを含む), 虐待の根絶
- ◆SDGsの推進 ◆ICTを活用した新たな授業スタイルへの対応, 教員のICT活用能力向上
- ◆体力・運動能力の向上 ◆防災教育, 命を守る教育の推進
- ◆子どもの安全・安心の確保 ◆教員の働き方改革

施策の方針 3 家庭・地域・学校の連携強化

(1) 地域で取り組む教育活動の推進

- 保護者や地域住民の理解と参画によるコミュニティスクールを推進することで、地域の教育力が高まり、緩やかではあるが地域社会全体で子どもたちの健全育成に繋がりが見え始めている。
- 青少年相談員による青少年に対する街頭での声掛けや巡回指導、「青少年の健全育成に協力する店」による青少年育成活動を通じ、青少年非行や犯罪被害の未然防止、抑制や安全・安心な地域環境の確保に繋がっている。

<成果>

- 地域との連携によるコミュニティ・スクールの実践
- 子ども会活動による環境ボランティア活動支援・地域住民との交流や活動機会の充実
- 「青少年の健全育成に協力する店」による青少年育成活動の実践

<目標指標と達成に向けた取組状況>

数値指標		単位	H29	H30	R1	R2	R3
子ども会加入率	目標値	%	83	83	84	84	85
	実績値	%	77	73.2	75.2	59.5	
	達成度	%	92.8	85.2	89.5	70.8	
「子どもを守る110番の家」の看板設置数	目標値	件	800	850	900	950	1,000
	実績値	件	805	724	716	725	
	達成度	%	100.6	85.2	79.6	76.3	



<今後の課題>

- ◆ コミュニティ・スクールの推進
- ◆ スマートフォンやタブレットが普及したことによるインターネットへの依存対策
- ◆ 時代の変化に伴い、青少年のかかえる問題、不適応行動が外からわかりにくくなっているための対応策
- ◆ 子ども会への加入促進
- ◆ 「青少年の健全育成に協力する店」への加入促進
- ◆ 「子どもを守る110番の家」の看板設置数の増加
- ◆ 地域と連携した防災意識向上

施策の方針 4 生涯学習・文化活動の推進

(1) 生涯学習環境の充実 (2) 家庭の教育力の向上 (3) 青少年の健全育成 (4) 文化芸術に親しむ機会の充実
(5) 文化財の保護と活用

- これまでの公民館講座を大学等の教育機関との連携により「かさま志民大学」として再編したことで、市民の誰もが生涯にわたり学習することができる機会の提供が図られている。
- かさま音楽フェスタ～奏～の成果と課題を踏まえ、市民に対する芸術鑑賞及び発表の機会を提供する事で、誰もが気軽に触れ合える文化芸術活動の振興や一層の充実に寄与している。
- 茨城大学との連携による「指定文化財の公開」や「笠間歴史フォーラム」の開催により、市民の芸術・文化財に対する関心が高まり、笠間を知り学ぶ機会のきっかけづくりや郷土愛を育む人材の育成、笠間の魅力発信の一つに繋がっている。
- 栃木県益子町と連携したストーリー「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」が文化庁が認定する日本遺産として認められ、笠間の魅力溢れる有形・無形文化財群を再確認するきっかけとなっている。

<成果>

- 「かさま志民大学」の開校
- 文化財の一斉公開及び「笠間歴史フォーラム」の開催
- 益子町と共同での文化財保存・活用事業実施
- 芸術鑑賞及び発表の機会の提供

<目標指標と達成に向けた取組状況>

数値指標		単位	H29	H30	R1	R2	R3
公民館利用者数	目標値	人	190,000	191,000	192,500	194,000	195,000
	実績値	人	131,700	143,061	148,042	55,241	
	達成度	%	69.3	74.9	76.9	28.5	
公民館講座数	目標値	講座	46	54	55	56	57
	実績値	講座	53	41	44	51	
	達成度	%	115.2	75.9	80.0	91.1	
公民館講座参加人数	目標値	人	4,425	4,525	4,600	4,650	4,700
	実績値	人	3,657	3,486	2,995	6,843	
	達成度	%	82.6	77.0	65.1	147.2	
地域交流センター利用者数 (ともべ・いわま)	目標値	人	100,000	110,000	120,000	130,000	135,000
	実績値	人	125,303	173,650	181,950	133,965	
	達成度	%	125.3	157.9	151.6	103.1	
家庭教育学級参加率(就学前)	目標値	%		85	86	87	90
	実績値	%		80.8	83.2	55.5	
	達成度	%		95.1	96.7	63.8	
家庭教育学級参加率(小学校)	目標値	%		85	86	87	90
	実績値	%		82.9	91.6	84.5	
	達成度	%		97.5	106.5	97.1	
家庭教育学級参加率(中学校)	目標値	%		55	56	57	60
	実績値	%		46.8	50.5	14.8	
	達成度	%		85.1	90.2	26.0	
「青少年の健全育成に協力する店」 加入率	目標値	%	76	77	78	79	80
	実績値	%	75.6	41.4	41.9	41.9	
	達成度	%	99.5	53.8	53.7	53.0	
青少年相談員の各種事業への参 加人数(延べ人数)	目標値	人	230	240	245	248	130
	実績値	人	237	222	217	118	
	達成度	%	103.0	92.5	88.6	47.6	0.0
茨城国際音楽アカデミーin かさま 来場者	目標値	人	3,500	3,600	-	-	-
	実績値	人	4,575	3,403	-	-	-
	達成度	%	130.7	94.5	-	-	-
全国子ども陶芸展作品応募数	目標値	点	1,300	1,400	1,500	1,600	1,900
	実績値	点	1,684	1,466	1,564	0	
	達成度	%	129.5	104.7	104.3		
歴史、産物等地域資源に係る講座 等の参加者数(年間)	目標値	人		520	400	500	600
	実績値	人	518	368	664	536	
	達成度	%		70.8	166.0	107.2	
「文化財公開」来場者数	目標値	人	2,500	0	2,600	0	2,600
	実績値	人	1,880	0	2,346	0	
	達成度	%	75.2		90.2		



<今後の課題>

- ◆多様化する生涯学習ニーズに応じた学習機会の提供 ◆家庭教育学級の推進
- ◆寺子屋事業への参加者増加 ◆文化財公開における来場者数の増加
- ◆日本遺産 PR の強化
- ◆新型コロナウイルス感染症対策を講じた事業の実施方法検討

施策の方針 5 スポーツの振興

- (1) 生涯スポーツの振興 (2) 茨城国体、東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組
(3) スポーツ施設の整備充実 (4) スポーツ関係団体の連携強化

- 「する・みる・ささえる」を基本理念とした、「笠間市スポーツ推進計画」を策定したことで、今後、本市の目指す生涯スポーツの推進やスポーツの交流によるまちづくりのスタートを切った。
- 茨城国体においては、正式3競技「ゴルフ」、「軟式野球」、「クレー射撃」及びデモンストレーションスポーツ「合気道」が笠間市で開催されたことで、スポーツへの興味・関心が高まり、スポーツ活動が活発化されるなど、スポーツによる交流の拡大を通じ、中長期的なまちづくりが進められている。
- 東京オリ・パラの開催に向けては、エチオピア、タイ王国、台湾、アメリカ合衆国、フランス共和国のホストタウンに登録され、相手国とのさまざまな交流を進められている。
- スポーツ国際交流員（SEA）を導入したことで、中学生を対象としたエチオピアへの派遣や、市内小中学生を対象とした陸上の指導など、トップアスリートからの指導を受け、競技力の向上を目指した取組の強化が図られている。
- 笠間芸術の森公園内に国内最大級のスケートパークがオープンし、スナッグゴルフと同様にスケートボードやBMXなどのニュースポーツ普及を進めている。

<成果>

- 茨城国体における正式3競技「ゴルフ」、「軟式野球」、「クレー射撃」及びデモンストレーションスポーツ「合気道」の実施による観戦やボランティア参加等スポーツに関わる市民の割合の向上
- 東京オリ・パラにおけるエチオピア、タイ王国、台湾、アメリカ合衆国、フランス共和国のホストタウンとして、スポーツを中心とした交流を推進することによる東京大会の機運醸成と国際交流の活性化
- スポーツ国際交流員（SEA）の配置による中学生を中心としたジュニア選手の競技力の向上 等
- スポーツを生かしたまちづくりを推進するため、公民連携組織として「笠間スポーツコミッション」を設立

<目標指標と達成に向けた取組状況>

数値指標		単位	H29	H30	R1	R2	R3
スポーツ大会・教室参加者数	目標値	人	9,345	9,510	9,670	9,835	10,000
	実績値	人	6,130	7,767	5,920	1,824	
	達成度	%	65.6	81.7	61.2	18.5	
1年間に運動やスポーツに関わった人の割合	目標値	%	30	35	40	45	50
	実績値	%	30.98	-	36.9	-	
	達成度	%	103.3	-	92.3	-	
学校体育施設開放事業利用団体数	目標値	団体	180	180	180	180	180
	実績値	団体	172	171	145	129	
	達成度	%	95.6	95.0	80.6	71.7	
スポーツ施設利用者数	目標値	人	272,000	274,000	276,000	278,000	280,000
	実績値	人	334,047	318,977	264,144	200,121	
	達成度	%	122.8	116.4	95.7	72.0	
スポーツ少年団指導者の有資格率	目標値	%	69	70.5	72	73.5	75
	実績値	%	66.5	66.1	72.9	69.6	
	達成度	%	96.4	93.8	101.3	94.7	
スポーツ少年団加入率	目標値	%	20	22.5	25	27.5	30
	実績値	%	17.52	17.1	15.8	15.1	
	達成度	%	87.6	76.0	63.2	54.9	



<今後の課題>

- ◆スポーツ少年団への加入促進 ◆スポーツ活動への幅広い年代の参加
- ◆スポーツ施設の整備充実 ◆ホストタウン交流の継続
- ◆地域スポーツコミッション活動推進 ◆スケートパークの活用

施策の方針 6 図書館活動の推進

- (1) 図書館資料の充実 (2) 図書館利用者サービスの充実 (3) 学校図書館との連携
 (4) 子ども読書活動推進計画の取組 (5) 図書館の多機能的な役割の構築

- 資料の貸し出し数がこれまで8年連続で日本一と輝かしい記録を更新している。
- 小中学校と連携した図書館だよりの発行や図書館見学などを通じ、読書離れが進む子どもへの利用や活動促進が図られ、豊かな心を育む教育の拡大に繋がっている。
- 資料や書籍のデジタル化が進み、日本でも普及に拍車がかかる電子図書館サービスを市内図書館で取り入れ、これからの時代に即した、より身近な図書館運営により地域コミュニティ全体の活性化に取り組みはじめたところである。

<成果>

- 資料の貸し出し数が8年連続で日本一 ●資料や書籍のデジタル化の推進
- 利用促進に向けた事業やイベントの実施 等

<目標指標と達成に向けた取組状況>

数値指標		単位	H29	H30	R1	R2	R3
図書館蔵書点数	目標値	点	598,000	612,000	625,000	639,000	600,000
	実績値	点	575,849	587,439	589,688	586,068	
	達成度	%	96.3	96.0	94.4	91.7	
団体貸出点数	目標値	点	10,300	10,480	10,660	10,830	18,000
	実績値	点	12,986	14,025	16,122	17,615	
	達成度	%	126.1	133.8	151.2	162.7	
図書館入館者数	目標値	人	624,600	624,700	624,800	624,900	370,000
	実績値	人	498,056	479,773	495,679	314,446	
	達成度	%	79.7	76.8	79.3	50.3	



<今後の課題>

- ◆利用者のニーズに合った資料の確保等の条件整備と効率的な図書館運営
- ◆学校図書館との連携
- ◆多機能的な役割の構築による地域コミュニティ全体の活性化
- ◆ICTを活用した情報及び図書資料の提供 ◆電子図書館サービスの拡充
- ◆子ども読書活動の推進